

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 稲武商工会

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | | | | | | | |
|-------------|--|---|--------|------|--------------------------------------|------|-----|------|-------------------------------|--------|----|---|------------|-------------|------|------|------|----|-----|-------|--|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | | A B C D 評価 | | | | | | | | | |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導を行うことにより、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。 | 巡回指導回数 年間150日 巡回指導実企業数 64事業所（内非会員分 2事業所） 巡回指導延件数 336件（内非会員分 8件） 窓口指導実企業数 92事業所（内非会員分 3事業所） 窓口指導延件数 408件（内非会員分 15件） 課題解決提案件数 22件 経営革新承認件数 1件 | 小規模事業者 | 指標 | 巡回窓口指導延件数 (達成度 148.8 %) | | | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 220.0 %) | | | 積極的に、様々な課題に活用できる補助金の周知とともに、活用事業を提案したところ、経営計画等の相談が増え、指導件数が大きく増えた。巡回・窓口相談指導が小規模事業者の直面する課題解決をするとともに、経営の安定をはかる一助となった。また、会員の満足度や必要性に対しても高い評価をいただいた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 巡回目標、巡回地域目標にそって巡回活動をし、全小規模事業者の巡回を1年に1回は行うよう努める。 | ○ |
| | | | | 目標数値 | 500 | 実績数値 | 744 | 目標数値 | 10 | 実績数値 | 22 | | | | 自己評価 | A | 調査結果 | A | 必要性 | 現行どおり | | |
| 記帳継続指導 | 個人事業主に対し、正しい記帳方法や、決算・確定申告の指導をすることによって、正しい税務申告と、記帳に対する個々の意識を高めることにより、試算表の数字等から経営状態の把握と向上を図ることを目的とする。 | 記帳の仕方や試算表の見方等の指導 2人、指導事業所数47件 指導回数 330日 指導回数 598回 記帳継続個別指導会を実施回数8回、参加者延48人 | 小規模事業者 | 指標 | 記帳指導事業所数 (達成度 100.0 %) | | | 指標 | (達成度 %) | | | 記帳継続指導事業所では、記帳継続事業への満足度が高く、記帳継続事業を通して、正しい税務申告や自店の経営状態を把握することができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 新規開業の事業所など、新たな記帳指導事業所の開拓に努め、記帳指導事業所数を増やす。 | |
| | | | | 目標数値 | 47 | 実績数値 | 47 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | 自己評価 | A | 調査結果 | A | 必要性 | 下げる | | |
| 講習会事業 | 多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経営・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。 | 講習会開催回数及び受講者数 (集団) 6回 80人 (個別) 11回 83人 計 17回 163人 | 小規模事業者 | 指標 | 講習会受講者数 (達成度 75.5 %) | | | 指標 | (達成度 %) | | | 今期は、インボイス制度などの税務講習会や、事業拡大のための補助金説明会など、事業主に必要な講習を提供することが出来た。また、個別指導により、税務等の知識習得をとおして、特に小規模事業者の資質の向上がはかれた。 | 総合評価 B | 事業実施評価 B | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 研修テーマを早期に決め、早くからPR活動を行う。 | ○ |
| | | | | 目標数値 | 216 | 実績数値 | 163 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | 自己評価 | B | 調査結果 | A | 必要性 | 下げる | | |
| 若手後継者等育成事業 | 商工業の後継者である青年、若手経営者及び商業に携わる女性に対し、青年部、女性部が主体となって各種セミナーを開催し、経営に必要な知識・技術の習得や資質の向上を図る。また、全国のリーダーが一同に会する全国大会に参加することで地域のリーダーとしての意識を高め新たな発見を促す。 | 事業承継セミナー Iなぜ事業計画書が必要なのか？ポイントは何か？ 12名 II事業計画書を作成するに当り自社の課題と解決策を導く 10名 III 自社の事業計画書を作成する 12名 全国大会参加 6名 資質向上セミナー ノベルティ等作成講習会 I 15名 ノベルティ等作成講習会 II 9名 女性の健康講習会 11名 全国大会参加 6名 | 小規模事業者 | 指標 | 参加者対象アンケートで満足と答えた割合 (達成度 121.9 %) | | | 指標 | 講習会・研修会 受講者数 (達成度 103.8 %) | | | 青年部はセミナーを通して、事業承継に当たり将来に向けた事業の持続性を持たせるために、経営環境を正しく捉え、それを踏まえた上での現実的な事業計画について学び、将来の戦略を検討するにはこれまでの事業や収益性を基として考えること、更に事業計画書が自分の将来を見据えた前向きなものという認識を持つようになった。また、女性部の資質向上セミナーでは、『ノベルティ等作成講習会』を開催し、お店のミニディスプレイやお客様へのオリジナルノベルティがプレゼントできるよう作り方を習った。『中高年女性の健康講習会』は地元医師を講師に女性の身体について知り、商売を続けていく上で必要不可欠なものを大切にする方法を学ぶことができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 多くの部員が、積極的に研修に参加するよう、参加募集を積極的に行う。 | |
| | | | | 目標数値 | 満足度 80% | 実績数値 | 97% | 目標数値 | 78 | 実績数値 | 81 | | | | 自己評価 | A | 調査結果 | A | 必要性 | 現行どおり | | |
| 祭典事業 | 各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業（地域資源・観光資源）PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。 | 「マツカいいでん稲武」5店舗 「稲武まつり」0店舗 「ふれあいまつり」2店舗 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、出店を急遽取りやめるなど、実績に大きく影響してしまっ | 小規模事業者 | 指標 | 出店等参画事業所数 (達成度 23.3 %) | | | 指標 | (達成度 %) | | | イベントは縮小し行われたが、稲武地区内でコロナ感染拡大が起こり、出展の取りやめがあり、出店者のPRや売上アップに結び付かなかった。次年度へ向け早期の準備を進めていく。 | 総合評価 C | 事業実施評価 C | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 次年度は、コロナ感染対策の徹底を図り、積極的な参加を促し、出店者のPRや売上アップを図る。 | |
| | | | | 目標数値 | 30 | 実績数値 | 7 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | 自己評価 | D | 調査結果 | B | 必要性 | 現行どおり | | |
| 商店街・街づくり事業 | 消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元事業者の活性化を通して地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。 | 商店街活性化計画のもとに「ソーシャル」3社「いなぶのお買い物配達便」の実施（R4年度実績）310件 1,466,874円 ・街並みの灯り事業 ・イベントとキャンドルを使った年末売出しイベントを実施（12/17）来場者135名 商店街活性化計画への参画事業者数 19店舗 | 小規模事業者 | 指標 | 商店街活性化計画への参画事業者数 (達成度 95.0 %) | | | 指標 | (達成度 %) | | | H25年9月からスタートしたソーシャルビジネス「いなぶのお買い物配達便」も徐々に周知されつつある。固定客も増えてきており、新規顧客の獲得につながるケースもあり、今後への期待と可能性は大きい。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 「いなぶのお買い物配達便」は独自財源で実施するため、地元商店の武器にできるよう、一層の周知と事業内容の検討が必要である。 | ○ |
| | | | | 目標数値 | 20 | 実績数値 | 19 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | 自己評価 | A | 調査結果 | A | 必要性 | 現行どおり | | |

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 稲武商工会

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|--|--------|------|------|------|-----|------|------|--------|------|------|------------|------------|----|------|----|------|-----|------|------|------|-----|----|-----|-----|--|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | | A B C D 評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標 | 実績数値 | 目標数値 | 指標 | 実績数値 | 目標数値 | 総合評価 | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | | | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | | | | | | | | | |
| 産業活性化事業 | それぞれの地域の特色を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、地産地消の推進などを行うことにより、企業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。 | ふるさとふれあいウィング466 稲武産ギフト「中馬街道物語」 稲武特産品のPRのためギフト販売を実施 特産品である米を使用した特産品 新商品開発（2商品：専門家指導3回） | 小規模事業者 | 指標 | 5 | 実績数値 | 2 | 指標 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 総合評価 | B | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 稲武産ギフト「中馬街道物語」の認知を高め、利用促進を図る活動を行う。 | ○ |
| 青年部・女性部事業 | 青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じ地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。 | ウォーキング大会出店（5/15） 道の駅どんぐりの里いなぶ出店（7/2～19） 稲武おいでんまつり出店（7/9） 地区・町大会主催（11/27） 花いっぱい事業（花の植替え作業）（2回） 寄せ植え講習会開催 民謡踊る会の踊り講習会に参加 | 小規模事業者 | 指標 | 42 | 実績数値 | 41 | 指標 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 新たな部員確保のため、部員一丸となって、加入勧誘活動を活発に行う。 | |
| 福利厚生事業 | 中小企業、小規模企業の特徴・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員への健康診断事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。 | ・各種共済の普及推進 特定退職金共済（73件） 中小企業共済（175件） 震知火災共済（60件） 商工災害生命共済（19件） 計 327件 ・事業所健康診断の実施 25事業所、278人 | 小規模事業者 | 指標 | 305 | 実績数値 | 327 | 指標 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 退職金の備え、健康診断受診の必要性等の理解を得るための活動に重点を置く。 | |
| 労働保険事業 | 事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。 | ・労働保険料の年度更新及び従業員の資格取得喪失等の手続きを代行 34事業所 対象従業員175人 | 小規模事業者 | 指標 | 35 | 実績数値 | 34 | 指標 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 総合評価 | A | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 労働保険制度の理解を進める啓発活動を行う等、加入勧奨に力を入れていく必要がある。 | |
| 青色申告会・法人会 | 青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国、地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、地域商工業の活性化に資することを目的とする。 | ・研修会：「インボイス制度研修会」参加者 25名 「令和4年度税制改正及びインボイス制度について」参加者 18名 ・地域貢献活動 道の駅どんぐりの里いなぶのミニニューアルに合わせ、どんぐり内に商工会のチャレンジショップの立ち上げの応援を行った。 法人会・青申告会会員数 78名 | 小規模事業者 | 指標 | 110 | 実績数値 | 78 | 指標 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 総合評価 | B | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | どの団体も、会員数の減少が心配されている。新たな会員を増やすためにも、活動内容の検討を行う。 | |
| 産業団体 | 稲武カード会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。 | ・稲武カード会（売出し8月・12月、抽選会1月、1/1～2/1設置12月～1月 他） ・食品衛生協会稲武分会（検便5月、10月 他） ・愛建連北設楽支部（コロナウイルスの感染拡大により木工教室等の事業を中止 他） ・木材組合 各種団体構成員数合計75名 | 小規模事業者 | 指標 | 90 | 実績数値 | 75 | 指標 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 総合評価 | B | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 今年度の事業成果を来年度以降の事業に活かせるような事業を検討する。 | |
| 調査・広報事業 | 当地区内の景気状況や需要動向を把握し、今後の施策や指導に役立てるとともに、回収したアンケートを分析・公表するとともに必要な諸施策を検討し、効果的かつ効率的な指導に繋げることを目的とする。 | 地域経済動向調査実施6/20～3/31 有効回答 38社（140社中） 需要動向調査 ・AIカメラによる来訪者分析 場所：道の駅どんぐりの里いなぶ 11/25～12/9 ・小・中学校保護者に対する消費者買い物調査 回収数49件 ・商店街の店舗等で来街者に対する商店街調査 回収数49件 ・どんぐりの里いなぶ及び時鐘工房にて来訪者に対しアンケート調査 回収数58件 ・大学生から商店街への意見徴収 12/1愛知学院大学臨田ゼミの学生11名に商店街を歩いてもらい、稲武地区商店街への意見聴取実施 ・地元小中高生へのヒアリング調査 稲武地区商店街への意見聴取を実施 調査数 150名 調査結果は、理事会等の会議で報告 | 小規模事業者 | 指標 | 100 | 実績数値 | 38 | 指標 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 総合評価 | B | 実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | アンケート回収率を上げ、今後の事業に活かすことが課題である。 | ○ |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。